

Ⅱ 事例研究

1 地域のネットワークでつくる活動事例

下都賀地区学校教職員ボランティア 「遊び学びキャラバン隊」出動！

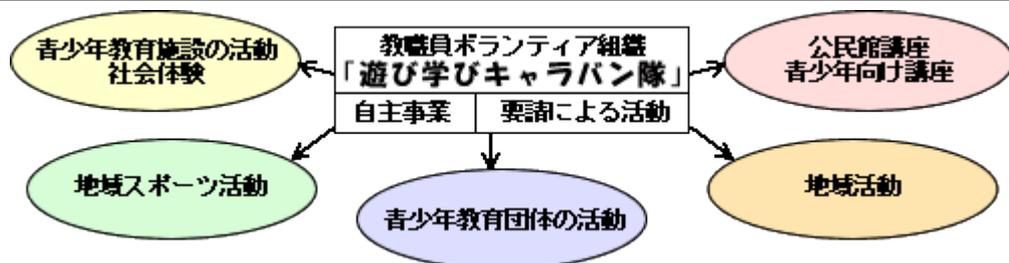
教職員の持つ教育に関するノウハウ（専門教科・趣味・子どもへの接し方等）を積極的に生かすことにより、様々な地域のニーズに応える集団として活動

関わっている人〈小学生、中学生、高校生、大学生、青年、成人〉

☆活動名 遊び学びふれあい教室

【活動の趣旨】 学校教職員ボランティア組織が、地域住民の活動拠点である公民館を利用し子どもたちに様々な体験活動を提供することを目的に実施する。

【活動のイメージ
図】



【対象・人数・条件】 キャラバン隊・・・下都賀地区に勤務または在住する教職員 31名
参加者・・・下都賀地区の小・中学生、保護者

【始めるきっかけ】 平成14年度から栃木県が取り組んでいる「家庭と地域の教育力活性化事業」において、下都賀教育事務所が主管する「地域活動サポート推進事業」の一環として、下都賀地区に勤務・居住する教職員のボランティア組織が立ち上がった。平成15年度より主に長期休業中の土・日曜日に、下都賀地区内の児童生徒に様々な体験活動を提供する自主事業等を実施している。

【広報のしかた】 募集チラシを作成し、下都賀地区の全小・中学校に配布する。

【活動内容】 ①自主事業「遊び学びふれあい教室」

下都賀地区内の公民館と連携し、小・中学生や保護者を対象に習字や絵画、パソコン、ものづくり、スポーツなど、教職員それぞれの特技や趣味等を生かした体験活動事業を実施している。
(活動の一部を掲載)



習字教室



パソコン教室



絵画・ポスター教室



リズムダンス教室



おもしろ理科実験



小物づくり

②各市町、団体からの要請に応じたグループ、個人での活動

【成果と課題】 教職員も地域住民の一員として子どもに関わった活動を展開していることを地域の住民に知ってもらうとともに、学校外での子どもの姿を知るよい機会となっている。

また、「遊び学びふれあい教室」には、高校生や会員ではない教職員がボランティアとして参加してくれるなどネットワークの輪が広がってきている。

「遊び学びキャラバン隊」の会員は、小・中・県立学校の教職員で構成されているので、教職員の異校種間交流の場となっている。

公民館との連携や組織体制の強化が今後の課題である。

☆これから始める人へのメッセージ

自分も楽しみながら地域でボランティア活動

遊び学びキャラバン隊

代表者 渡邊 容子

所在地 〒321-0216
壬生町壬生丁 72-11

電話 0282-82-6613

